

三朝温泉病院 リハビリ通信

発行日
平成29年12月8日
Vol 2
発行責任者:山根 隆治

【訪問看護リハビリステーションの紹介】

平成27年3月に開設となった訪問看護リハビリステーション三朝温泉病院では現在、看護師3名、保健師1名、理学療法士4名、作業療法士3名、事務担当1名、計12名で利用者様の生活支援を行っています。その中で訪問リハビリ利用者は現在25名、一回40分〜60分のリハビリを週1〜2回の頻度で行っています。

△訪問リハビリとは…△

- 実際の生活の場において日常生活の自立と家庭内、更には社会参加の向上を図ることを目的としている
- 利用者本人と自宅環境との適合を調整する役割を持ち、自宅での自立支援に効果的なサービスを提供する
- ケアマネージャー等の関連職種と連携を図りながら国家資格を有したりリハビリ専門職が利用者本人と家族の生活再建・安定・発展の手助けを行う

△具体的な内容△

- 病状の観察や助言、精神面も含めた健康状態の確認と助言、再発予防と予後予測
- 日常生活指導、身体機能の維持・改善、福祉用具や補装具などの相談、趣味・社会参加促進のための助言など
- 家族への介護方法指導や福祉制度の利用相談など



【訪問リハビリの様子】

こんな心配はありませんか？

- ・トイレに手すりが欲しいけどどこにつけていいかわからない
 - ・買物や散歩に歩いていきたいけど自信がない
 - ・自宅での運動方法がわからない
 - ・福祉用具の選定に困っている
- お気軽にご相談ください

「院内デイケアの紹介」

《午前部の部》

平日午前11時前、リハビリ室一番奥にある部屋に車いすや歩行器を使って三々五々集まってこられます。来られた方からその日の空の様子やその時々々の季節や行事の話、新聞やテレビの話題、はたまた病院行事や給食のメニューなど色々な話に花が咲きます。皆がそろったところで『口の体操』を始めます。『院内デイケア』午前部の部はこんな感じで始まっていきます。

人間の身体の中で、『顔の筋肉、のどの筋肉の力が落ちる』『呼吸のリズムが乱れる』『声が出にくくなる』『喋りにくくなる』といったような症状は『食べる機能の低下』『認知機能の低下』『踏ん張る力の低下』を引き起こして元気を失くしてしまう原因の一つです。

これらを防ぐために昼食前の30分間『口の体操・呼吸練習・発声練習・歌唱・お話し』等をおもしろ楽しく行っています。時には最初の話が盛り上がり、半分以上話をして笑ったり、時には歌の追いかっこをしたりと、その時々で内容は変化しますが、それぞれ参加いただく皆様の個性を引き出し、それが発揮できる場を提供し、基本は参加者が『楽しい』と思っていただけるように進行する際には心掛けています。

個性豊かな参加者の皆さんと楽しい時間を共有していく中で私達スタッフの方が元気をいただいています。今日もまた楽しい時間が提供できるように迎えようと思えます。

《午前担当：言語聴覚主任 荒尾かず子》

《午後部の部》

午後の部は2時～3時の一時間で離床が進まない方、病院生活に馴染めずに不穏な行動がみられる方などを対象に安心できる人・環境づくりを目指して開催しています。午前の部と同様に毎日の内容は決めていますが参加者同士の話が盛り上がり、時間を押ししてしまうこともしばしばです。しかし参加者・スタッフが楽しく時間を過ごすことと一日の生活リズムを作っていくことが出来れば基本的にはどんな活動を行ってもいいと考えています。

院内デイケア初参加者の中には、いきなり大勢の中に入ってびっくりされる方もいますが会話することや温かい雰囲気に触れることで時間の経過と共に笑顔がみられるようになってきます。また面識のない方達が集団の中に入ると、夫々を気遣い仲間意識が芽生えるようになります。夫々の個性を褒め合うこと、レクリエーション活動で失敗しても自然とお互いが士気を高めたりする場面も見られ、病棟では見られない新たな一面を発見することができ、それが一番の治療薬だと思っています。



《ある日の院内デイケア風景》

リハ科のイチ押し



中村 貴紀 作業療法士

Q 精力的に学会発表をしていますが何かきっかけがあったのですか？

A 3年前に日本全国の作業療法士が一堂に集う日本作業療法学会に参加して様々な分野で活躍している作業療法士の発表や講演を聞いてとても刺激を受けたと同時に数年後にはこの舞台で発表したいという気持ち湧いてきたことがきっかけです。

Q 今後の抱負は…

A 昨年度より『年間2回以上学会発表を行う』を自身の目標に掲げ二年連続で鳥取県作業療法学会・日本作業療法学会で発表してきました。

発表をするとなると事前準備を含め大変なことは多々ありますが、発表をするという意識を持つことで日々の患者さんへの接し方、治療内容などについて研鑽を怠らないようになります。また学会で得た知識を患者さんに還元できるなど業務の質向上にも繋がると思っていますので、これからも日々の治療業務は勿論のこと、学会発表など業務以外の活動にも積極的に取り組んでいこうと思います。

知っていますか？ 福祉住環境コーディネーター

【福祉住環境コーディネーターとは…】

住み慣れた我が家を安心して生活できる環境に整備するために各専門職のコーディネーター(調整)をする役割を担っています。怪我や病気により、これまで住んでいた自宅での生活が困難になった方に対して、当院では退院される前に自宅を訪問し、患者さんの動作能力や環境を確認した上で、住む人の思いも聞いて住環境を整備するアドバイスを行います。一人ひとりの生活スタイルが違うように、生じる問題も様々であるため解決には多くの専門職種が関わって解決していく必要があります。その際、医療だけではなく福祉や建築の知識を持ち合わせた専門資格者として『福祉住環境コーディネーター』が活躍します。例えば手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修には高額な費用が掛かりますが、介護保険などの補助制度を使い福祉用具の購入やレンタルで整備できる事例があります。そういった場合にケアマネージャーや福祉用具貸与業者への橋渡しも行います。自宅での生活を安全・快適にするために日々研鑽を重ねています。

【当院の福祉住環境コーディネーター2級 取得者】

(文章：大丸利沙)

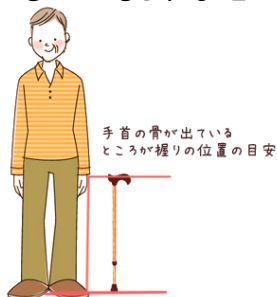
- | | | |
|--------|--------|--------|
| 松本周三OT | 團野恵未PT | 手嶋将隆PT |
| 中井孝志PT | 別所大樹PT | 山口洋司PT |
| 大丸利沙PT | 森 将志PT | 河本友紀PT |

知っ得コーナー

【1本杖のおはなし】

さて、問題です。杖はいったい右手・左手どちらの手でつくのが正解でしょうか？

答えはどちらも正解です。更に言うと**痛い側(悪い側)の脚と反対の手で持つ**のが正解です。時々間違えてついている人もいますが、恐らく利き手の関係で使いやすさからそうしているのかもしれませんが。また杖の長さ(高さ)が身体に合っていないとつきにくかったり、本来の杖の役割を果たせない場合があります。杖の高さは、右の図のように持ち手が手首の高さにくるようにするか、軽く肘が曲がる(30度程度)位でつくのが最も力が入りやすいと言われています。



また杖の握り手も握り方が間違っていると力が入りにくいものです。下の図を参考に正しい握り方を試してみてください。



<編集後記>

今年も昨年のような大雪になるとの予報も聞かれます。インフルエンザなどの感染症も流行する季節ですが、スタッフ一同熱い情熱をもって大雪にも寒さにも風邪にも負けず日々の業務に取り組んでまいります。 文責:山根 隆治

ロボットリハビリチーム始動!

三朝温泉病院リハビリテーション科では2017年4月にロボットリハビリテーションチームを立ち上げ、2017年10月よりHONDA歩行アシストという歩行訓練機器を本格導入しました。

HONDA歩行アシストは、制御コンピューターがモーターを駆動し、脚の振り出しや蹴り出しを誘導することができます。リハビリテーションにおいては主に歩行練習に使用し通常の理学療法士によるリハビリテーションと併用することで更なる効果が期待できます。



ロボットリハビリテーションチームは患者さまの幅広いニーズに対応できるよう治療手段の選択肢を増やしていくことで、地域から選ばれる病院になることを目指しています。また当院は現時点で山陰唯一のHONDAアシスト導入施設でもあり、山陰両県を牽引する役目が担えるようチーム一丸となって研鑽していきたいと思えます。



《メンバー》

荒石章夫・大丸利沙
武中公人・河本友紀
明里雅人・高見浩和
松本厚一・手嶋将隆
青木一樹・團野恵未